

令和 6 年度
グループホーム 亀天福寿苑
事業報告書

(1) 基本方針

「一緒に」 「共に」 を大切にし、私たちは支援します。

(運営方針)

- ① ご利用者一人一人が「その人らしく」生活を送れるように支援します。
- ② ご家族と積極的に交流し、「安心」を提供します。
- ③ 地域の方との交流を行い、より良い関係作りを行います。
- ④ 職員の質の向上を目指し、より良い職場環境を提供します。

(重点目標)

- ① ご利用者が安心して生活を送ることができるように、ご本人様の生活歴を把握し、慣れしんだ生活を行うことができるように日々の生活に取り入れ実施を行いました。
ご利用者一人一人の身体状況に合わせた生活リハを考え、ケアプランへ反映し、職員と関わりを持ちながら、継続して実施することができるように対応を行いました。
レクリエーションでは、ご利用者一人一人が興味のあることを見つけることができるように、職員間で情報共有を行い、その方に合わせたレクリエーションの提供を行いました。
また、ご家族が安心した生活を送ることができるように、ご利用者の生活状況や、状態の変化なども、細目に報告する対応を行っております。
- ② 日々のバイタルチェックなどの確認を行い、異変の早期発見に努めました。異変時には早急にご家族やかかりつけ医への報告、相談を行いました。
また、事故防止のために、ヒヤリハットを活用し、事故防止に努めることが必要であることを職員間で共有し、対応を行いました。
その他、感染症の発生時には、発生確認後すぐに個室対応を行い、ゾーニング、ガウンテクニックの実施を早急に行い、感染拡大の予防に努めました。平常時においても、日々感染症予防対策に努めています。
- ③ 地域交流についてですが、地域のお祭りの際には、子供神輿が来苑され、交流を行いました。また、福祉・文化祭りには、作品の展示と当日の参加を行いました。行事の参加を行うことで、地域の方との交流の機会を増やすことができました。
- ④ 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所や地域連携室へ定期的に訪問を

行い、情報共有を行いました。地域の施設入所希望についての情報共有を行いました。広報誌を定期的に配布することで、問い合わせをして下さるきっかけ作りにも努めました。

(2) 利用者に対するサービス

● 食事

ご利用者の嚥下状態や咀嚼状態などに合わせ、食材を一口大や刻みなどを行い、安心食事することができるように提供を行いました。減塩の必要な方には、副食の提供の際に工夫を行うなど、施設で可能な対応方法の検討を行い、実施しました。また、毎月手作りおやつを取り入れ、一緒に作ることで役割を持ったり、作ることを楽しまれたり、季節感を味わうことができるよう支援行いました。

● 入浴

入浴時には、一人一人の身体状況に合わせ、特殊浴や一般浴で対応を行っています。ゆっくりと入浴して頂くように落ち着いた環境作りを行っています。入浴前には、バイタルを確認し、看護職との連携も図り実施しています。一人一人の希望の温度での対応を行っています。入浴時には、ご利用者の好まれる話をしたりしてリラックスして洗身などして頂くことができよう実施しています。体調に合わせて、シャワー浴や清拭を行うこともありました。入浴時には、皮膚状態の確認を行い、異変時には看護師に報告を行い、すぐに観察して頂き、対応を行っています。

今後も安全、安心に入浴して頂くことができるように努めます。

● 排泄の介助

ご利用者一人一人の身体状況に合わせ排泄介助を行っています。立ち上がり不十分なご利用者には、転倒のリスクも考え、二人介助にて対応を行うこともあります。紙パンツや紙おむつ、パットなどは、排泄パターンを把握し、その時の状況に合わせて対応を行いました。日中や夜間によって使用方法を検討し、職員間で共有し、統一したケアを行うように努めました。排便の確認を行い、必要時には看護職へ伝え、下剤を使用し、使用後の状態も把握し、今後使用についての検討も行いました。

● 健康管理

毎日のバイタル測定に、昼食前や夕食前測定を行い、一日の中でも変化に気づくことができるように実施しました。異変時には看護職へ報告し、ご家族や医療との連携に努めました。食事摂取量や水分摂取量を把握し、日頃の状態の把握を行うことで、異常時の早期発見に努めました。新型コロナウイルス感染症発生時には、早期にゾーニングを行うことで、最小限に感染を収めることに努めました。職員への感染対策についてシミュレーションを行うことで、感染症発生時には職員がすぐに対処することができ

ました。日々の生活の中でも、感染症予防の為に、こまめな手洗い、手指消毒、感染回避行動に努めました。今後も、周辺の感染状況を把握しながら対応を行っていきます。

- 機能訓練

ご利用者一人一人の残存能力に合わせ、午前中は身体を動かすレクリエーションを中心に、午後からは創作活動を中心にレクリエーションを行っています。午前中は、ラジオ体操やタオル体操を行い、楽しみながら身体を動かすことを提供しています。職員はご利用者に楽しんでできることを考えレクリエーションに取り入れ提供しています。午後からは、塗り絵や貼り絵などの創作活動を行っています。それぞれのご利用者に合わせ、塗り絵をして頂いたり、貼り絵に使う折り紙を千切っていただいたりするなど、ご利用者本人ができることを提供しています。それを基に、季節を感じることができるよう壁画を毎月作成しています。ご利用者も、自身が手伝ったことで、達成感を感じることができ、充実した時間を過ごしていただいています。

- 行事

令和6年度は、全館で集まる合同行事を開催しました。感染症予防のためにご家族と一緒に参加の行事は行うことができませんでしたが、ご家族様や地域の方には、写真を見て頂き、行事の様子や日々の様子をお伝えするように実施しました。季節ごとに行事を考え、ご利用者に楽しんでいただくことができるように実施しました。

- ボランティアの受け入れ、地域交流

令和6年度は、地域の子供神輿の来苑がありました。子供たちの来苑で、ご利用者の方は笑顔で楽しまれていました。福祉・文化祭りでは、作品の展示を行い、当日に展示された作品を見に行かれ、嬉しそうに作品を鑑賞されてきました。

- 防災・防火対策

4月と10月に防火訓練を行いました。日中と夜間想定をそれぞれ行っています。また、南海地震を想定した訓練、土砂災害を想定した避難訓練も行っています。実施後は、職員間で意見を出し合い、誘導の際の声のかけ方や声の大きさや、建物の外に出る際に、スムーズに外に誘導を行うことができるよう、出口の検討を行いました。防火訓練の際には、水消火器を使用し消火器の使用方法や防火設備の講習も行いました。自治会の防災会議に参加し、地域の災害に対する意見などもお聞きすることができました。今後も地域の方との連携をすることができるように取り組んでいきます。

- 職員研修

内部研修を中心に行いました。職員自身が介護を行っている中で、疑問に思うことや、知りたいことや、学びたいことについて、研修スケジュールに沿って勉強会を行いました。各職員が自身で学んだことを基に講師となり職員全員へ講義をする形式で行いました。内部研修で学んだことから、職員は、自分で実践目標を設定し、一か月間実践して、座学で学んだことを理解して、実践できるよう努めています。

(3) その他の重要な取り組み

① 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

ご利用者及び職員のワクチン接種、毎日の健康観察、こまめな手洗いとうがい、手指消毒、換気実施に努めました。感染症が発生した際は、抗原検査の実施を行い、早期に感染を確認するとともに、直ちにゾーニングの実施を行いました。職員については日頃より基本的な感染症予防対策を継続して実施しています。

② ハラスメント対策

ハラスメントの種類やどのような行動がハラスメントに繋がっていくかなどを研修にて学び、ハラスメントを理解することで、働きやすい環境作りに努めました。個々の話し方や発言などにも注意することができました。

③ 地域における公益的な活動

地域で開催された文化祭への作品の展示に参加をしました。

④ 介護職員等処遇改善加算への取り組み

認知症についての内部研修の実施を行いました。認知症について学び、認知症の種類によつての周辺症状や対応方法の違いを考え、目標を立てて、目標達成に向けて実践したことを振り返り、認知症の対応について理解を深めました。また、介護職初任者研修に参加し、介護技術の向上に努めました。

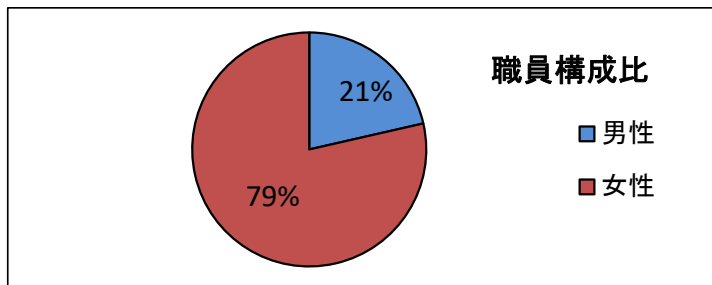


1. 事業所

① 概要

事業所名	グループホーム 亀天福寿苑		
事業所種別	認知症対応型共同生活介護事業所		
事業所住所	今治市高部字基石山甲661番地1		
管理者職名	村瀬 りえ		
職員数	男性	女性	総数
	3名	11名	14名

(令和7年3月31日現在)



②職員紹介

亀天福寿苑は、管理職・計画作成担当者・介護員にて形成されております。

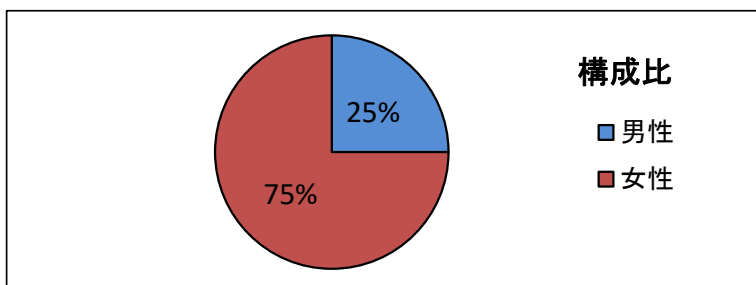
管理職1名、計画作成担当者2名、介護支援専門員1名、介護員14名でご利用者18名の支援を行っています。

介護員14名のうち、介護福祉士4名 初任者研修修了者6名 がご利用者の支援を行っております。管理職、計画作成担当者にも、介護福祉士の資格の取得者や認知症リーダー研修修了者など、認知症対応共同生活介護には欠かせない専門知識を有した職員が属しております。また、行事の際には得意なおやつ作りを發揮し、毎月手作りおやつを実施したりご利用者が楽しむことができるレクリエーションを考え提供を行っています。

亀天福寿苑が運営理念として掲げている「一緒に共に」を大切に、私たちは支援します。」を大切に職員一同、支援を行っています。

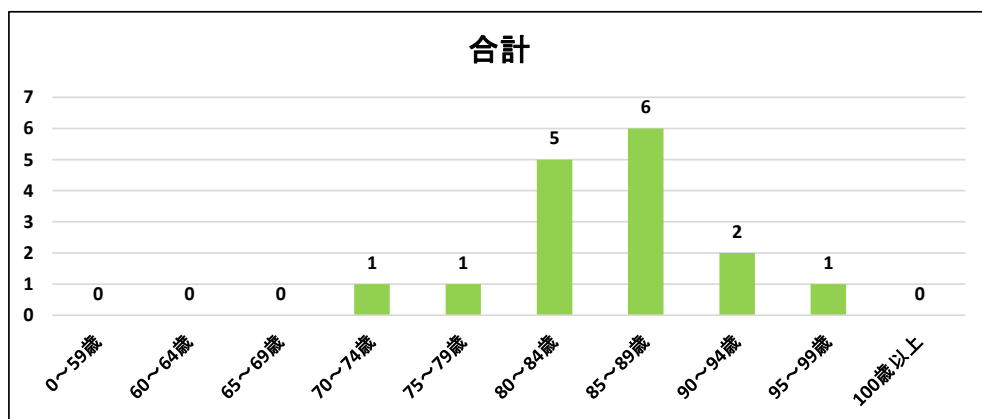
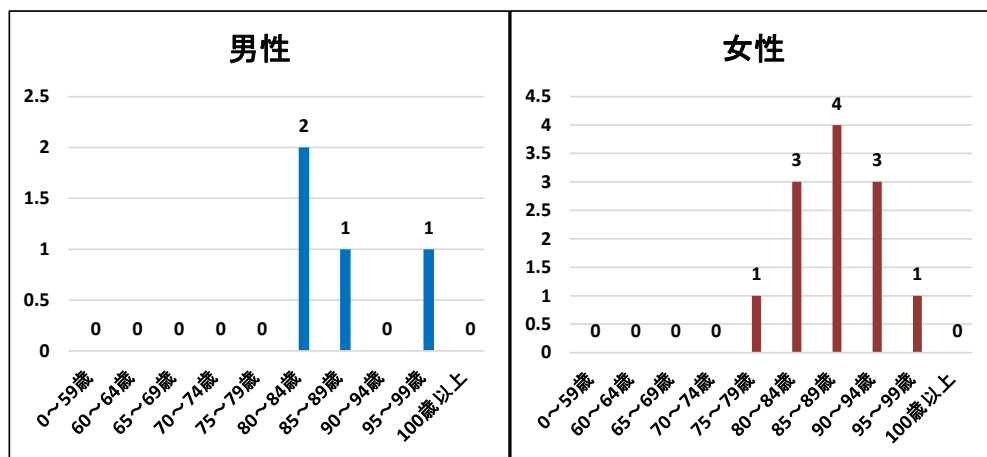
2. 定員及び現在人員(令和7年3月31日現在)

定員	現在人員	性別	
		男性	女性
18名	16名	4名	12名



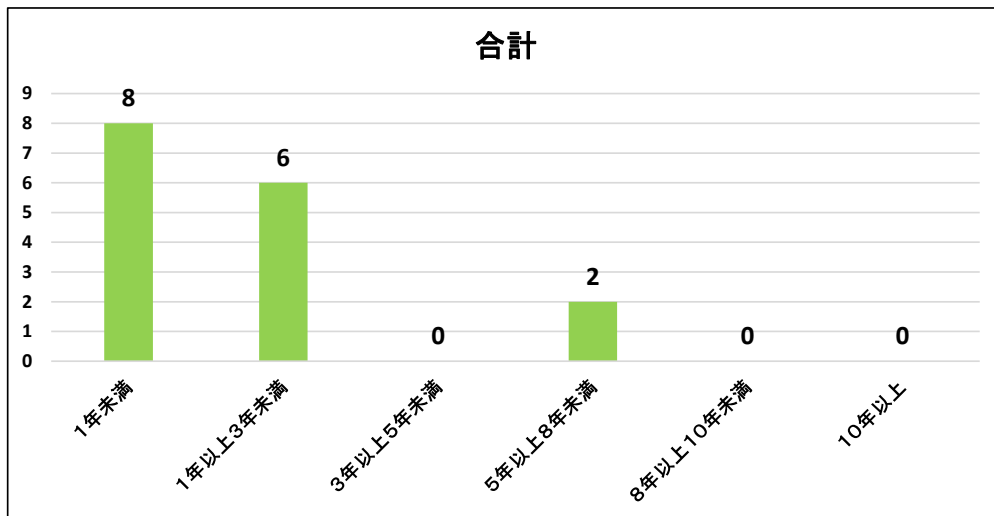
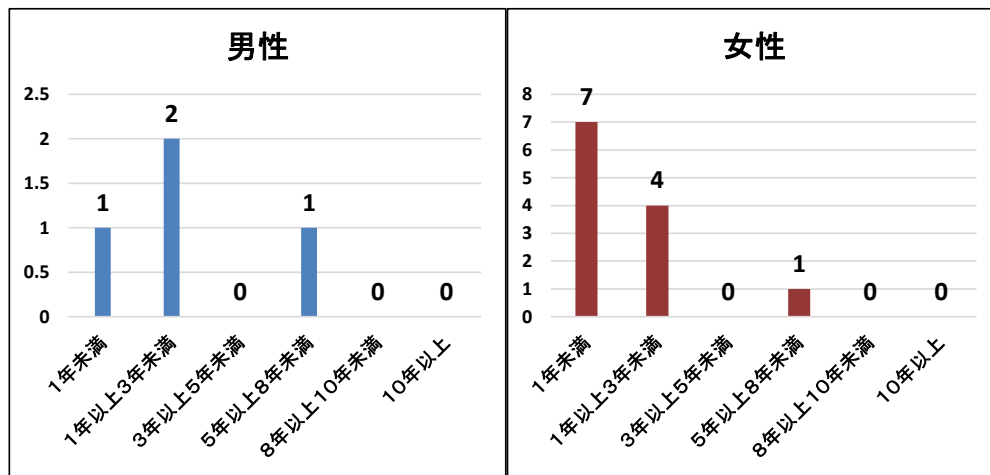
2. 年齢別人員

	男性	女性	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳	0	0	0	0
60～64歳	0	0	0	0
65～69歳	0	0	0	0
70～74歳	0	0	1	4
75～79歳	0	1	1	8
80～84歳	2	3	5	8
85～89歳	1	4	6	38
90～94歳	0	3	2	23
95～99歳	1	1	1	11
100歳以上	0	0	0	0
合計	4	12	16	100
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	98	83	87	86.9
女性	98	77	86.3	



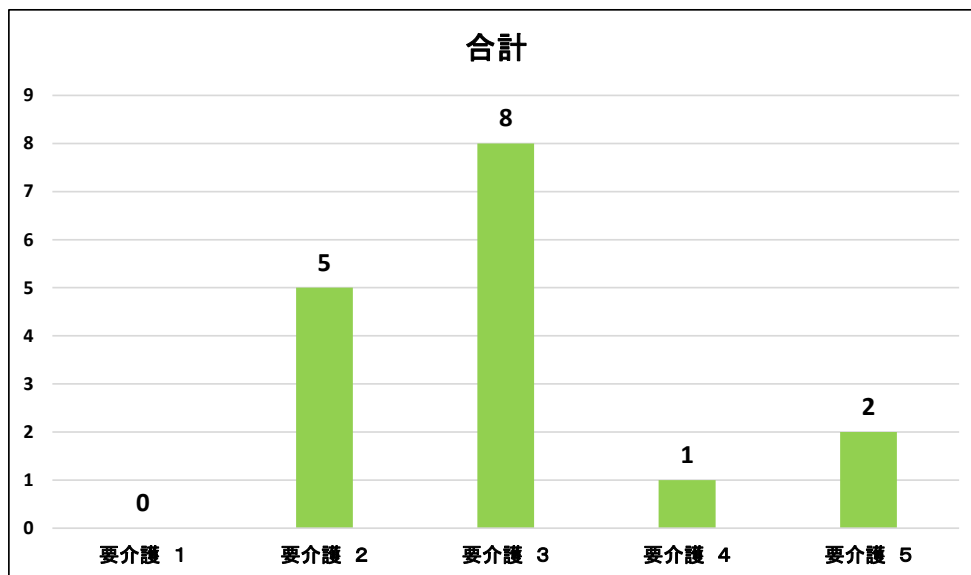
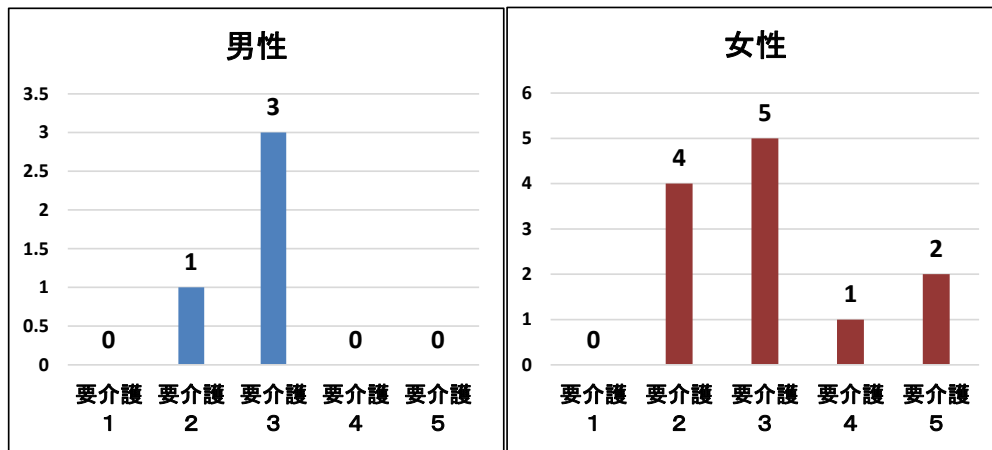
3. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	1	7	8	50
1年以上3年未満	2	4	6	38
3年以上5年未満	0	0	0	0
5年以上8年未満	1	1	2	12
8年以上10年未満	0	0	0	0
10年以上	0	0	0	0
合計	4	12	16	100
平均入居期間	2年6か月	1年4か月	1年9か月	



4. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要介護 1	0	0	0	0
要介護 2	1	4	5	31
要介護 3	3	5	8	50
要介護 4	0	1	1	7
要介護 5	0	2	2	12
合計	4	12	16	100
平均介護度	2.8	2.7	2.75	



5. 面会状況(令和6年4月1日～ 令和7年3月31日迄の1年間)

総数	60
1か月平均	5
最高(1人あたり)	16回
最低(1人あたり)	1回
年間1人平均	3.3人
1か月1人平均	0.277人

6. 研修実施状況

【内部研修】

実施月	研修内容	研修講師	出席者数
4月	コンプライアンス・法令遵守について理解し、利用者様、ご家族様、職員が安心した生活を送ることができる	介護職員	17名
5月	認知症の種類を理解し、利用者様が穏やかに過ごすことができるようにコミュニケーション技法について学ぶ。	介護職員	17名
6月	感染症の種類や原因を理解し、感染予防を行うことができる対応方法を理解し、適切な汚物処理ができるようになる。	介護職員	17名
7月	権利擁護等に関する基本的理解について学び、安心して生活をするように支援する。	介護職員	17名
8月	記録の記入方法や内容について理解し、ケアプラン作成へ繋がる記録ができるようになる。	介護職員	17名
9月	身体拘束つながる事例を考え、対策について検討をすることで身体拘束を防止することができる。	介護職員	17名
10月	災害の発生時の状況を理解することでその時に必要な対応を行うことができるようになる。	介護職員	17名
11月	事故防止対策について理解し、安全な生活をするように支援する。 ヒヤリハットや事故報告書について理解し、情報共有を行うことができるようになる。	介護職員	17名
12月	感染症に対する予防を学び、シミュレーションを行うことで発生時、適切、迅速に対応することができる。	介護職員	17名
1月	日々のケアについて振り返りを行うことで、不適切ケアを防ぐことができる。	介護職員	16名
2月	不適切な要因を学び、利用者様が安全に過ごすことができるよう支援する。	介護職員	15名
3月	緊急時、急変時の具体的な対応について理解し、迅速に適切な対応を行うことができるようになる。	介護職員	14名

【外部研修】

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
4月	講義	口腔ケア研修	介護員
6月	講義	認知症実践者研修	介護員
7月	オンライン	認知症チームケア研修	介護員
10月	講義	高齢者虐待防止研修会	介護員
11月	講義	口腔ケア研修	介護職員

7. 行事・クラブ活動及びボランティア受入れ実施状況表

【行事・クラブ活動】

実施月	指導援助者	内容	参加者数
4月	介護職員	お花見ドライブ	24名
	介護職員	お誕生日会・手作りおやつ	23名(各ユニット)
5月	介護職員	誕生日会 手作りおやつ	24名(各ユニット)
	介護職員	さつま芋苗植え	22名
	介護職員	運動会	24名
6月	介護職員	誕生日会・手作りおやつ	22名(各ユニット)
	介護職員	カラオケ大会	21名
7月	介護職員	七夕・手作りおやつ	20名(各ユニット)
	介護職員	誕生日会・歓迎会	21名(各ユニット)
8月	介護職員	手作りおやつ(新型コロナウイルス感染症の為中止)	
	介護職員	夏祭り(新型コロナウイルス感染症の為中止)	
	介護職員	歓迎会	13名
9月	介護職員	歓迎会	12名
	介護職員	敬老会	23名
	介護職員	誕生日会・おはぎ作り	21名(各ユニット)
10月	介護職員	花火大会	21名
	介護職員	文化祭	21名
	介護職員	誕生日会・手作りおやつ	24名
	介護職員	歓迎会	12名

実施月	指導援助者	内容	参加者数
11月	介護職員	さつま芋収穫	20名
	介護職員	歓迎会	10名
	介護職員	誕生日会・手作りおやつ	20名(各ユニット)
	介護職員	紅葉ドライブ	18名
	介護職員	歓迎会	13名
12月	介護職員	クリスマス会	23名
	介護職員	おもち作り	24名
1月	介護職員	鏡開き	23名(各ユニット)
	介護職員	誕生日会・手作りおやつ	23名(各ユニット)
2月	介護職員	節分	23名(各ユニット)
	介護職員	誕生日会・手作りおやつ	22名(各ユニット)
3月	介護職員	ひな祭り	24名(各ユニット)
	介護職員	おはぎ作り	22名(各ユニット)

【地域交流・ボランティア受入れ状況】

実施月	団体名	内容	参加者数
5月	高部分館	子供神輿	29名

9. 苦情状況

【苦情状況】

日付	法人との関係	内容
令和6年度		特になし



